

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2020年3月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第10週(3月2日～)から第13週(～3月29日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における3月の上位6疾患の合計は28.22で、2月の67.44に比べて減少した。その理由は、新型コロナウイルス感染症を恐れての自粛や衛生管理が大きいと思われるが、実際に減少した疾患は、インフルエンザと感染性胃腸炎の減少である。インフルエンザは、9月に流行開始し、42週から本格的な流行期に突入したが2月以降は減少を続け、終息に向かっている。

1位は感染性胃腸炎で10.74(2月2位21.78)と減少した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.54(同3位13.47)と減少した。3位がインフルエンザで5.23(同1位27.42)と減少した。4位は流行性角結膜炎で1.26(同4位1.68)と減少、5位はマイコプラズマ肺炎で1.23(同7位1.32)と横ばいだった。6位は水痘で1.22(同6位1.54)と少し減少した。

### 〈新型コロナウイルス感染症(COVID-19)〉

2019年12月、中国湖北省武漢市で始まったCOVID-19であるが、わが国では指定感染症として取り扱われ、3月11日にはWHOがパンデミックと認定した。

3月11日の時点では、世界の患者数は10万人、死者が4,275名だったが(厚生労働省の広報)、4月7日時点で世界の患者数は130万人、死者は73,000人を超えている。わずか27日間で患者数は13倍に死者は17倍に増加した。患者数は、1位米国、2位イタリア、3位スペイン、4位ドイツ、5位中国、6位フランスと続く。

中華人民共和国から、韓国、イタリアへの感染拡大、さらにはヨーロッパ全土、米国でも爆発的感染拡大(オーバーシュート)した。特にイタリア、米国などでは医療体制が追い付かない、いわゆる「医療崩壊」が起きている。

わが国では、感染拡大を防ぐために、①手洗い・マスク、咳エチケットの励行から②3つの密を避ける生活様式の徹底、③多様な活動自粛、④クラスター感染の探索究明を継続している。しかし、残念なことに感染拡大は抑止できておらず、「医療崩壊」を回避すべく、感染者の自宅や宿泊施設での療養、退院時期を早める、対応可能な施設を増やすなど、医療対応の変更が検討され始めた。

### 〈風疹〉

2018年からの風疹流行はまだ続いており、予防接種機会がなかった40～57歳の男性を対象に、抗体検査を前置きした上での定期接種(第5期と呼ばれ、麻しん風しん混合ワクチンが使用される)が2019年4月から実施中である。

風疹は2018年に累積で2,941例、2019年には2,306例が報告された。2020年第7週までの報告数は43人であったが第8～11週の間には25人加わった。流行の勢いはやや失速こそしたが終息してはいない。主たる患者の年齢層は、前回2012～13年の流行と同様に、これまで定期予防接種の対象外であった30～50歳代男性である。

風疹の最大の問題は、流行に数か月遅れて発現する先天性風疹症候群CRSである。2015年以降に報告がなかったCRSが、2019年は4例(東京都2例、埼玉県、大阪府各1例)、2020年は1例(福島県)で1例が報告されている。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	10週	11週	12週	13週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		3.57	2.87	2.20	2.10	10.74
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.92	2.31	1.72	1.59	8.54
3	インフルエンザ		3.13	1.29	0.54	0.27	5.23
4	流行性角結膜炎		0.42	0.27	0.26	0.31	1.26
5	マイコプラズマ肺炎		0.35	0.43	0.24	0.21	1.23
6	水 痘		0.37	0.35	0.26	0.24	1.22

## 県内情報

全国との対比（定点当たり報告数）全国との対比（定点当たり報告数）。高知県の3月の上位6疾患の合計は22.71で2月の58.63と比べて減少した（表2）。インフルエンザは、全国よりも少し遅れて47週から増加に転じ流行期に突入した。本県の報告数は1月は全国1位となり一気に増加したが2月以降は減少し終息に向かっている。

1位は感染性胃腸炎で8.17（同2位17.57）と減少し全国よりも少なかった。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.13（同3位11.53）と減少したが、全国並みだった。3位はインフルエンザで1.86（同1位24.92）と著明に減少し全国よりも少なかった。4位はRSウイルス感染症で1.64（同4位1.83）とわずかに減少したが全国よりも多かった。5位はマイコプラズマ肺炎で1.51（同5位1.51）と横ばいで全国よりも多かった。6位は伝染性紅斑で1.40（同6位1.27）横ばいで全国よりも多かった。

### 〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

COVID-19は、高知県では、2月29日～3月8日に12例が報告され（うち、海外渡航者1名、感染源不明は4名）、その後19日間は報告が途絶えていた。県内患者発生の第2波は3月27日に始まり、連日新規患者が報告され4月8日現在38例目まで報告されている。都市部での著増に呼応する増加かもしれない。県西部でも7例が報告され全県的な拡がりとなってきた。感染経路の不明な10例が含まれていることは、新型コロナウイルスは密かに県下にも感染拡大していることを意味する。オーバーシュートを起こさないために、県民一人一人の自覚が重要である。また、医療体制の再構築が急務である。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	10週	11週	12週	13週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		2.13	2.27	2.17	1.60	8.17
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.27	1.83	1.93	1.10	8.13
3	インフルエンザ		1.17	0.48	0.08	0.13	1.86
4	RS ウ イ ル ス 感 染 症		0.47	0.83	0.17	0.17	1.64
5	マイコプラズマ肺炎		0.50	0.25	0.13	0.63	1.51
6	伝 染 性 紅 斑		0.40	0.40	0.37	0.23	1.40

表3 新型コロナウイルス感染症県内患者状況

	公表日時	年代・性別	管轄保健所	職業	備考
13例目	3月27日	80歳代・女性	高知市	無職	
14例目	3月29日	60歳代・女性	高知市	会社員	第13例目の親族
15例目	3月30日	40歳代・男性	中央東	会社員	
16例目	3月31日	70歳代・女性	高知市	自営業	第13例目の濃厚接触者
17例目	3月31日	40歳代・男性	幡多	警察官	
18例目	4月1日	70歳代・女性	高知市	団体職員	第13・16例目の濃厚接触者
19例目	4月1日	90歳代・女性	高知市	無職	
20例目	4月1日	30歳代・男性	幡多	警察官	第17例目の同僚
21例目	4月2日	50歳代・女性	高知市	会社員	第13例目の濃厚接触者
22例目	4月3日	50歳代・男性	高知市	会社員	
23例目	4月3日	40歳代・男性	幡多	介護職員	
24例目	4月4日	30歳代・男性	高知市	警察官	第17・20例目の濃厚接触者
25例目	4月4日	80歳代・女性	高知市	無職	第22例目の濃厚接触者
26例目	4月4日	70歳代・男性	高知市	農業	
27例目	4月5日	60歳代・女性	高知市	無職	第13・16・18・21例目の濃厚接触者
28例目	4月5日	40歳代・女性	幡多	無職	23例目の濃厚接触者
29例目	4月5日	70歳代・女性	高知市	食品販売業	第26例目の濃厚接触者
30例目	4月5日	20歳代・女性	高知市	看護師	第26例目の濃厚接触者
31例目	4月5日	50歳代・女性	高知市	食品販売業	第26例目の濃厚接触者
32例目	4月5日	10歳代・女性	高知市	専門学校生	第26例目の濃厚接触者
33例目	4月5日	30歳代・女性	高知市	居酒屋勤務	
34例目	4月6日	60歳代・女性	幡多	飲食店経営（バー）	
35例目	4月6日	20歳代・女性	中央東	アルバイト	第30例目の濃厚接触者
36例目	4月6日	20歳代・男性	高知市	飲食店勤務	第33例目の濃厚接触者
37例目	4月7日	40歳代・女性	幡多	介護職員	第23例目と同じ職場
38例目	4月7日	20歳代・男性	幡多	教員	

1～12例目については、退院し濃厚接触者の健康観察も終了しているため一覧表から削除しています

## 2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

3月は新型コロナウイルス感染症流行のため、それ以外の病原体検出が中断されており、データなしとなっている。

### 1) インフルエンザ

報告数 89名（2月 1,196名）。2019年9月に流行が始まり、10月は減少に転じていたが、47週から全国よりも遅れて増加に転じ、その後増え続けて流行期に入った。定点当たりの数字は、12月は都道府県別では下位から3番目であったが、1月は一気に全国1位となった。本県の流行は遅れて始まったが規模は他県よりも大きかったことを意味している。

12月は同時期としてはAH1pdm2009がはじめて流行した2009年に次いで2番目の大きな数字であったが、1月は例年並み、2月は過去10年で2番目に少なく、3月は最も少ない報告数だった。県下の全域で発生しており、高知市、中央西、中央東、安芸の順で、特に多かった。

病原体検出については上記の理由でデータがない（以下同様なので省略する）。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 10名（2月 33名）。例年並の報告数である。高知市、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 244名(2月 346名)。2019年9-11月は、この時期として過去10年で最高の報告数で推移し、12月は2015年に次いで2番目、2020年1月は最多、2月は2番目の多さだった。安芸以外の全域から報告され、特に高知市、須崎、中央西から報告が多かった。

4) 感染性胃腸炎

報告数 245名(2月 527名)。少ない数字で推移し、2月に増加して平年並みとなっていたが、3月は再び、過去10年で最低の報告数となった。県下全域から報告があり、特に幡多、須崎、中央東の順に多く報告された。

5) 水痘

報告数 16名(2月 14名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。安芸以外から報告され、特に須崎、中央東から表記の順位に多く報告された。

6) 手足口病

報告数 33名(2月 25名)。2019年2月に流行が終息していたが、5月から流行が始まり大流行となった。8月以降は減り続けていたが12月は横ばい、1月、2月と減少を続け終息に向かうかと思えたが3月はわずかに増加した。高知市、中央西、安芸、中央東から表記の順に報告があった。

7) 伝染性紅斑

報告数 42名(2月 38名)。2019年7月以降は多い報告数で推移している。特に10月は過去10年間で最大の報告数(時期を問わず)を記録した。県下全域から報告されたが、安芸、須崎、中央西、高知市の順に特に多く報告された。

8) 突発性発疹

報告数 31名(2月 24名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 3名(2月 1名)。昨年は6月から流行し、8月に減少に転じていたが、9月は再び増加し、10月以降減少した。幡多から3名の報告があった。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 17名(2月 14名)。須崎、中央西、安芸、幡多、高知市から表記の順に多く検出された。

11) RSウイルス感染症

報告数 49名(2月 55名)。2019年も前年同様に流行開始が早く、8月の報告数は2017年以降、270名、126名、233名と多い数字で推移し、従来に比べて流行時期が1カ月程度早まる傾向が続いた。11月は激減したが12月以降は小幅な増加がみられたが3月はわずかに減少した。須崎、高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。

12) 流行性角結膜炎

報告数 0名(2月 3名)。

13) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(2月 0名)。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名と減少傾向である。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は皆無であり、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(2月 0名)。年間20-30人台の報告数で推移していたが、2017年7人、2018年1人、2019年5人と報告が少ない。2019年以降は月数名未満で推移している。

15) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 12名（2月 12名）。高知市、中央東から報告された。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 23名（2月 18名）。平年並の推移である。高知市、安芸、中央東＝幡多の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（2月 0名）。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例の報告があり、2019年は2例である。

高知県感染症発生動向調査部会  
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（令和2年3月）

類型	病名	報告月			総計
		1月	2月	3月	
2	結核	5	5	8	18
4	重症熱性血小板減少症候群			1	1
	レジオネラ症	1			1
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		2	3
	急性脳炎		1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1
	後天性免疫不全症候群	2			2
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	1	2	8
	水痘（入院例に限る）	1			1
	梅毒	1		3	4
	破傷風		1		1
	百日咳	9	8	7	24
指定感染症	新型コロナウイルス感染症			12	12
	総計	26	16	35	77

## 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2020年

3月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	5	14	51	15	2	2	89	1,196	168
小児科	咽頭結膜熱		1	7			2	10	33	20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		31	143	27	20	23	244	346	347
	感染性胃腸炎	10	59	77	23	18	58	245	527	563
	水痘		5	7	1	2	1	16	14	36
	手足口病	1	3	26	3			33	25	2
	伝染性紅斑	5	5	17	5	4	6	42	38	27
	突発性発疹	2	8	14		2	5	31	24	36
	ヘルパンギーナ						3	3	1	1
	流行性耳下腺炎	1		2	6	7	1	17	14	1
	RSウイルス感染症		8	32		6	3	49	55	128
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								3	8
STD	性器クラミジア感染症			2				2	6	1
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症								3	
基幹	細菌性髄膜炎									1
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎		1	11				12	12	11
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									2
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)								3	16
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	1	18			1	23	18	20
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		27	136	407	80	61	105	816	2,318	1,388
前月		95	418	1,046	226	161	372			
前年同月		64	299	612	96	100	217			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2020年

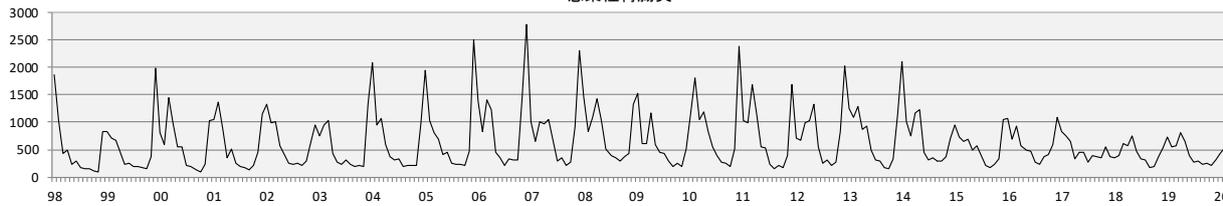
2月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	1.25	1.27	3.19	3.00	0.50	0.26	1.86	24.92	3.50
小児科	咽頭結膜熱		0.14	0.63			0.40	0.32	1.10	0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4.44	13.00	9.01	10.00	4.60	8.13	11.53	11.56
	感染性胃腸炎	5.00	8.43	7.00	7.66	9.00	11.60	8.17	17.57	18.77
	水痘		0.72	0.63	0.33	1.00	0.20	0.53	0.47	1.20
	手足口病	0.50	0.43	2.36	1.00			1.10	0.84	0.06
	伝染性紅斑	2.50	0.71	1.55	1.67	2.00	1.20	1.40	1.27	0.89
	突発性発疹	1.00	1.14	1.26		1.00	1.00	1.03	0.80	1.20
	ヘルパンギーナ						0.60	0.10	0.03	0.03
	流行性耳下腺炎	0.50		0.18	2.00	3.50	0.20	0.57	0.46	0.03
	RSウイルス感染症		1.15	2.91		3.00	0.60	1.64	1.83	4.26
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								1.00	2.66
STD	性器クラミジア感染症			1.00				0.33	1.00	0.17
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症								0.50	
基幹	細菌性髄膜炎									0.13
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎		1.00	2.20				1.51	1.51	1.38
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.26
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)								0.38	2.01
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.00	1.00	3.60			1.00	2.88	2.25	2.50
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		10.75	18.43	32.71	24.67	30.00	20.66	24.85	60.82	42.17
前月		30.00	47.85	77.82	54.41	72.75	56.42			
前年同月		27.25	40.29	49.43	28.65	44.50	42.01			

# 注目される疾患別月別推移

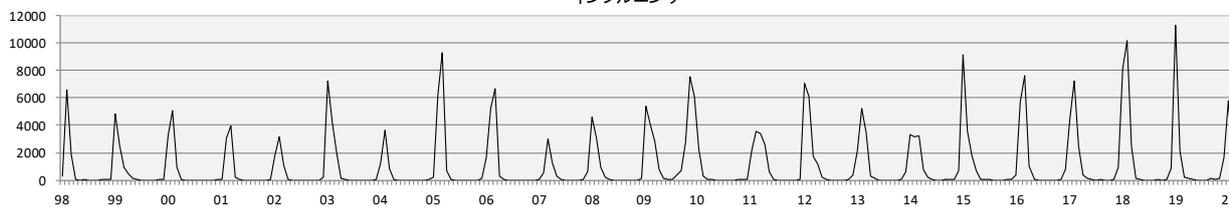
## 感染性胃腸炎



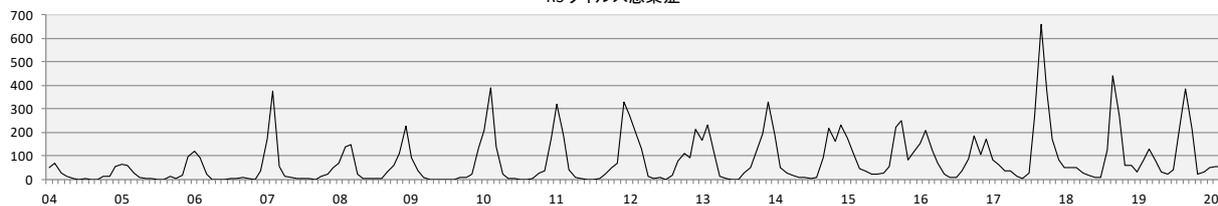
## A群溶血性レンサ球菌感染症



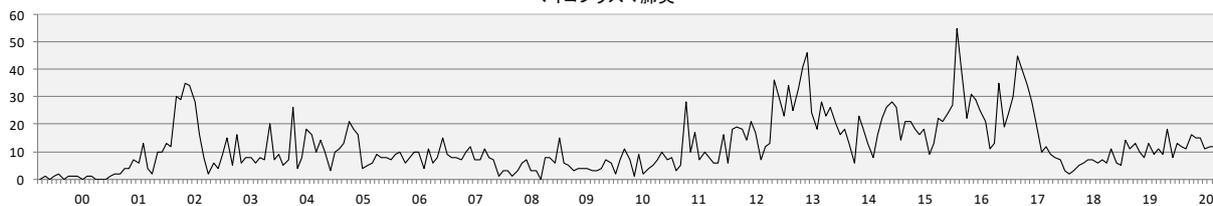
## インフルエンザ



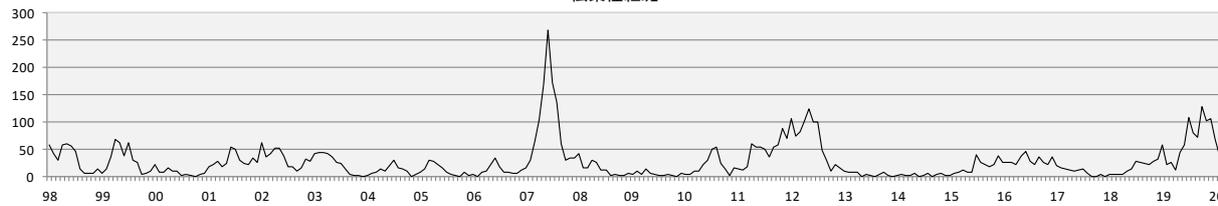
## RSウイルス感染症



## マイコプラズマ肺炎



## 伝染性紅斑



高知県感染症情報(月報)  
2020年3月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

現在、新型コロナウイルス感染症が高知県内でも患者が確認され、感染拡大防止のため注意喚起がされているところです。当所におきましては、新型コロナウイルス感染症検査のために、感染症発生動向調査をしばらくの間中断をさせていただきます。

類型	病名	報告年																			総計			
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		2018	2019	2020
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	18	1768
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	18	1768
3	コレラ	1					1						1											3
	パラチフス	2																						2
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2				27
	腸チフス		1						1									1					1	4
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9		206
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	242	
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1		3						3	1			2		34
	Q熱	1	1	2				1																5
	オウム病			1		1															1			3
	つつが虫病		9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3		90
	マラリア								2						1							1		4
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	1	74
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10		172
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1											6
	レプトスピラ症											1		4	2	1				1				9
	E型肝炎												1		1								2	4
	デング熱												1										2	9
	重症熱性血小板減少症候群															3	11	3	7	5	5	9	1	44
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	2	454
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1	3	2	2	3		7	3	2	5	3	3		47	
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3		1		2	1	1		58	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	21	20	3	113
	急性弛緩性麻痺																				1	2		3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1		32
	ジアルジア症		1	2	1										1	1					1			8
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1						1		1	1			5
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	1	21
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1		1	1	3	1		1		3	5	6	2	1	27
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	2	77
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4	7	3		23
	侵襲性肺炎球菌感染症															1	4	12	16	18	14	22	8	95
	水痘(入院例に限る)																	2	1	1	3		1	8
	播種性クリプトコックス症																		1	3	5			9
	髄膜炎菌性髄膜炎										1													1
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	1	33
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	4	200
	百日咳											5												5
麻疹											1	1			4	9	1						19	
風しん																				3				19
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	45	1153
指定	新型コロナウイルス感染症																							12
	計																							12
新型	新型インフルエンザ																							34
	計																							34
動物	鳥インフルエンザ																							1
	計																							1
	総計	61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	77	3652